

## 平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	研究ゼミナールB	授業コード	P170291
担当教員名	小島 康史	科目ナンバリングコード	
配当学年	3	開講期	後期
必修・選択区分	必修	単位数	2
履修上の注意または履修条件	それぞれが映像制作の手法を深めていく授業です。表現に関連するさまざまな授業をすでに履修していることが必要です。		
受講心得	グループで制作する作品が中心なので、欠席をしてグループのメンバーに迷惑をかけることのないようにしてください。新聞は日頃から目を通しておくこと。		
教科書	特に指定しない。		
参考文献及び指定図書			
関連科目			

授業の目的	企画、調査、取材、構成、撮影、編集にいたる映像のサイクルを作品を通じて円滑に制作することができる。
授業の概要	大分合同新聞社と連携して、ゲートチャンネル内の『地域の芽、学生目 NBUビデオ通信』にて、月に一度の動画ニュースを作成し、配信を行う。併せて、担当者は大分合同新聞の夕刊にて記事の執筆も行う。企画は前もって案を出し合い協議をした後、大分合同新聞にプレゼンテーションを行って決定される。作品時間は2分から3分程度とし、携帯画面からでも見やすい絵作りが求められる。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：  映像作品の実制作を行います。作品内容に関する教員とのミーティングを随時行います。	進行中の作品に関する調査・準備など。
第2週：  映像作品の実制作を行います。作品内容に関する教員とのミーティングを随時行います。	進行中の作品に関する調査・準備など。
第3週：  映像作品の実制作を行います。作品内容に関する教員とのミーティングを随時行います。	進行中の作品に関する調査・準備など。
第4週：  映像作品の実制作を行います。作品内容に関する教員とのミーティングを随時行います。	進行中の作品に関する調査・準備など。
第5週：  映像作品の実制作を行います。作品内容に関する教員とのミーティングを随時行います。	進行中の作品に関する調査・準備など。

第6週：	映像作品の実制作を行います。作品内容に関する教員とのミーティングを随時行います。	進行中の作品に関する調査・準備など。
第7週：	映像作品の実制作を行います。作品内容に関する教員とのミーティングを随時行います。	進行中の作品に関する調査・準備など。
第8週：	映像作品の実制作を行います。作品内容に関する教員とのミーティングを随時行います。	進行中の作品に関する調査・準備など。
第9週：	映像作品の実制作を行います。作品内容に関する教員とのミーティングを随時行います。	進行中の作品に関する調査・準備など。
第10週：	映像作品の実制作を行います。作品内容に関する教員とのミーティングを随時行います。	進行中の作品に関する調査・準備など。
第11週：	映像作品の実制作を行います。作品内容に関する教員とのミーティングを随時行います。	進行中の作品に関する調査・準備など。
第12週：	映像作品の実制作を行います。作品内容に関する教員とのミーティングを随時行います。	進行中の作品に関する調査・準備など。
第13週：	映像作品の実制作を行います。作品内容に関する教員とのミーティングを随時行います。	進行中の作品に関する調査・準備など。
第14週：	映像作品の実制作を行います。作品内容に関する教員とのミーティングを随時行います。	進行中の作品に関する調査・準備など。
第15週：	映像作品の実制作を行います。作品内容に関する教員とのミーティングを随時行います。	進行中の作品に関する調査・準備など。
第16週：	制作した映像作品の講評をします。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目		
備考		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	①映像制作の手法を探る。 ②社会への関心を深め、表現することの意味を確かめる。
<b>【知識・理解】</b>	①映像制作の手法を探る。 ②映像で訴えるための表現力を探る。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	①映像で訴えるための表現力を高める。
<b>【思考・判断・創造】</b>	①企画意図を実現できる(想定した対象に、伝えるべき情報を伝えることができる)。

<b>○成績評価基準(合計100点)</b>	合計欄	100点
------------------------	-----	------

到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			5点
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		50点	
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		40点	
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。			5点

**(「人間力」について)**

※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

**○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安**

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他 (無形成果)	